へきなん 議会だより

No.117
2020.2/1

令和元年12月市議会定例会

□審議された議案等 ――― 2～3
□市政を問う・一般質問―― 4～10
□行政視察研修報告――― 11～13
□議会の窓――――――― 14

5歳児「当たらないように　逃げなくっちゃ!」

4歳児「みんなで　縄跳びたのしいね」

3歳児「築山から　お～い!!元気な声が聞こえるよ」

2歳児「パーティーが始まるよ～」

1歳児「ブロックで何を作ろうかな!」

0歳児「みんなと一緒で楽しいね」

テーマ：「碧南の未来を担う子どもたち」
～笑顔いっぱい　元気いっぱい　新川保育園～

碧南市職員の給与に関する条例の一部改正など

議案等21件、請願6件、陳情1件を審議

12月 市議会定例会 議案

令和元年12月市議会定例会は、12月5日から12月20日まで、16日間の会期で開会しました。会期中に諮問1件、条例議案6件、補正予算議案8件、その他議案5件、報告案件1件の合計21件を審議しました。また、請願6件、陳情1件を審議しました。

議案等は、次のとおりです。

諮問

●人権擁護委員候補者の推薦について

現委員の生田英一氏が令和2年3月31日をもって任期満了となり、同氏を再び推薦することとした。

条例の制定

●碧南市下水道事業の設置等に関する条例

(1)経営の基本に関する事項。
(2)重要な資産の取得及び処分。
(3)議会の同意を要する賠償責任の免除。
(4)議会の議決を要する負担付きの寄附の受領等。
(5)業務状況説明書類の作成。

条例の改正

●碧南市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(1)住居手当の改正。
(2)期末手当の支給月数の改正。
(3)給料表の改正。
(4)碧南市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正。

●碧南市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

期末手当の支給月数の改正。

●碧南市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例

期末手当の支給月数の改正。

●碧南市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

(1)死亡の推定に係る規定。
(2)災害援護資金の償還等に係る規定。
(3)引用条項の改正。

●碧南市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

碧南市南部市民プラザ及び碧南市東部市民プラザのアリーナ並びに碧南市臨海体育館の第1体育室の使用料について当該使用料に空調設備使用料を合算することに伴う使用料の改正及び空調設備使用料の規定の削除。

補正予算

●令和元年度碧南市一般会計補正予算（第3号）

●令和元年度碧南市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

●令和元年度碧南市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

●令和元年度碧南市訪問看護事業特別会計補正予算（第1号）

●令和元年度碧南市介護保険特別会計補正予算（第3号）

●令和元年度碧南市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）

●令和元年度碧南市水道事業会計補正予算（第1号）

●令和元年度碧南市一般会計補正予算（第4号）

その他議案

●損害賠償に係る額の確定について

あおいパーク産直市設置のレジスターが大雨による天井の雨漏りのため故障。

●碧南ふれあい作業所の指定管理者の指定について

●碧南市児童クラブの指定管理者の指定について

●碧南市児童センターの指定管理者の指定について

●碧南市こどもプラザらくるにしばたの指定管理者の指定について

報告

●損害賠償に係る専決処分

公用車右側後方が相手方所有の門扉及びコンクリートブロックに接触し破損。

請願

●安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める請願（不採択）

●看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願（不採択）

●介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願（不採択）

陳情

- 介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める請願（不採択）
- 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願（不採択）
- 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願（税と教育部門について）（不採択）
- 国に対して「すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書」の提出を求める陳情（不採択）

12月市議会定例会に上程された議案等の審議結果

議案等の内容		採決結果	新政会								共産党			市民			令和新風			公明		みらい		新
			林田	生田	山中	小林	鈴木良	鈴木清	杉浦哲	沓名	山口	岡本	磯貝明	石川	神谷	杉浦文	新美	磯貝幸	祢宜田	加藤	大竹	小池	鈴木み	鍔本
諮問	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
条例	碧南市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	碧南市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		△
	碧南市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		△
	碧南市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	碧南市下水道事業の設置等に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	碧南市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
補正予算	令和元年度碧南市一般会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	令和元年度碧南市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	令和元年度碧南市公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	令和元年度碧南市訪問看護事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	令和元年度碧南市介護保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	令和元年度碧南市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	令和元年度碧南市水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	令和元年度碧南市一般会計補正予算（第４号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
その他	損害賠償に係る額の確定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	碧南ふれあい作業所の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	碧南市児童クラブの指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	碧南市児童センターの指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	碧南市こどもプラザららくるにしばたの指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
請願	安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×		○
	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×		○
	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×		○
	介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×		○
	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×		○
	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願（税と教育部門について）	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×		○

○…賛成、×…反対、△…退席、　※…議長のため、採決に加わらず

市政を問う

12月市議会定例会 一般質問

12月定例会では、12月5日、6日、9日の3日間、13人の議員が一般質問を行いました。

その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

詳細は、碧南市議会ホームページ内の「インターネット中継」、「市議会会議録」又は、市民図書館に配布する「12月市議会定例会会議録」(2月下旬発行予定)でご覧ください。

日本共産党
碧南市会議員団
磯貝　明彦

防災について

問 矢作川の上塚橋付近の中洲を掘削して、その残土を碧南地区防災拠点施設の盛土として早期完成するよう国に要望を。

答 盛土の搬入元は矢作川中流部の河道拡幅の残土を利用とのこと。早期完成は要望していく。

問 同報無線は、市域全てをカバーできていない、増設を。個別受信機・防災ラジオの普及を。

答 同報無線の増設は考えていない。防災ラジオは受信状態が悪く、見合わせている。緊急速報メールを8月より配信。

問 蜆川堤防は想定最大津波高、高潮高に対して不十分。蜆川河口に可動水門建設を県に要望を。

答 伏見屋樋門・右岸堤防の耐震化を要望していく。河口水門の設置要望は難しい。

障害者・高齢者の外出支援

問 福祉タクシー券は毎年度5割強しか利用されていない。不足している方への拡充を。くるくるバスの拡充を。県内24市町村が行っている高齢者タクシー券の交付・補助を。

答 福祉タクシー券の拡充はしない。くるくるバスは調査・研究をしていく。高齢者タクシー券の交付・補助は考えていない。

市南部地域に高齢者・子どもが集まれるセンターを

問 市南部地域には子育て関連施設がない。伊勢土地区画整理地内の集合保留地に高齢者・子どもが集まれる複合施設建設を。

答 整備方針が決まっていない

社会福祉総合助成事業

福祉タクシー料金助成事業

	実申請者	交付枚数	基本料金	利用枚数
H. 28	388人	10, 636枚	700円	5, 813枚
H. 29	398人	11, 156枚	700円	5, 867枚
H. 30	408人	11, 658枚	700円	5, 981枚

出典：各年度決算成果報告書

▲福祉タクシー券各年度の利用枚数

令和新風会
新美　交陽

大規模水害への備えについて

問　台風19号がこの地方を襲っていたらどうなっていたか。

答　被害想定は48時間683ミリの雨により、矢作川の堤防が決壊し市域の40～50％が浸水する。

問　矢作川の氾濫の危険性が高まっているのではないか。上塚橋付近の中洲や樹木が水位を上昇させるのではないか。

答　今年度、国が樹木の伐採を始めている。必要に応じて河道の掘削をする。

問　ハザードマップの「千年に一度」の表記は改めるべきではないか。

答　国の基準であるが近年の大雨の危険性を市民に再認識してもらえるようあらゆる機会を捉え啓発していく。

児童・生徒に1人1台のICT機器（パソコン等）の配布を

問　子供にパソコン習得が早く出来るようにし、将来の就職に備える必要があるのでは。

答　小学校1年からパソコンを学んでいる。基礎から段階を踏み将来役立てるようにしていく。

問　プログラミング教育を教える教員の技能は充分か。

答　充分ではない所もあるが、実技研修をしステップアップを図っていく。

問　ICT機器は既に高価ではない。是非1人1台の配布を。

答　国の方針が1人1台となるよう発表された。今後、国の財政措置を見極め対応していく。

▲矢作川、上塚橋付近の樹木

新政会
生田　綱夫

スポーツ施設の整備について

問　2号地多目的グラウンド、玉津浦グラウンドの雨水排水対策を考えるべきではないか。

答　大規模修繕は難しいが、スポーツ協会などの協力の下で可能な範囲で機能保全に努める。

問　ナイター設備のLED化への変更について。

答　羽久手グラウンドは修理不能な状況であるためLED化も含め検討する。

問　グラウンドの汲み取り式トイレを改修し循環式水洗トイレへ変更するべきでは。

答　先ずは2号地グラウンドのトイレ更新を前向きに考える。

中学部活動支援事業について

問　部活動支援事業の現状と今後の対策は。

答　需要の多かった4種目が今年8月より指導開始。指導者も確保出来、今後は新たな種目の開講を目指したい。

中央埠頭臨海緑地の状況について

問　オリンピックの合宿地としての状況は。

答　視察には来ているが、具体的交渉には至って無い。

問　アジア大会や今後の整備に向けて、実行委員会の設置予定はあるのか。

答　県との連携を図り、組織体の設置等を含め必要な対応を図って行く。

問　駐車場の解決方法は。

答　多角的に協議・検討を進める。

▲羽久手グラウンド

日本共産党
碧南市会議員団
岡本　守正

中小企業・小規模企業振興基本条例、住宅リフォーム助成

問　全国416市町村で中小企業振興条例が制定されている。碧南市も制定すべきでは。

答　条例制定は考えていない。

問　地元中小企業を活性化させる助成制度を。

答　各種住宅改善費補助制度を実施している。一律に老朽化の住宅リフォーム補助はしない。

建物耐震と空き家、空き店舗の補助制度について

問　市内の建築物耐震改修を早めるため補助率を100％にして、100万円まで補助を。

答　耐震改修費補助額の上限上乗せを検討している。

問　市内の建物耐震改修はこれまで何件おこなわれたか。

答　令和元年11月までの改修は110件である。

問　創業チャレンジ補助制度の利用者はこれまで何件か。

答　利用者は13件。この中で空き店舗利用は2件。

問　創業チャレンジ補助制度の利用は、女性、40歳未満には補助の上乗せがある。性別、年齢制限を無くし上乗せ補助制度を。

答　一律に補助率を引き上げることは、考えていない。

子どもの予防接種について

問　子どものインフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス、はしかの予防接種無料制度を。

答　現在、助成については考えていない。ロタウイルスについては、来年の10月より定期予防接種となる予定。

▲空き店舗利用が期待される商店街

新政会
小林　晃三

竜の子街道プロジェクトについて

問　現在までの成果は。

答　平成28年度は観光動向調査を行い、外国人向けと日本人向けのモニターツアーを行った。平成29年度は多言語による情報発信、PR活動のほか名古屋駅発着の日帰りバスツアー・特典付き宿泊プランの実施、サイクリングマップの作成、カプセルトイを中部国際空港へ設置。平成30年度は29年度の取り組みに加えて観光タクシーツアープランの造成、サイクリングマップのコースを巡るイベントを開催した。令和元年度はこれまでの取り組みに加えて観光スポットを巡る周遊クーポン事業を実施。海外の日本紹介サイト「歩歩日本」への掲載による外国人誘客事業を行った。

問　今後の課題は。

答　竜の子街道プロジェクト開始から4年が経過したが、認知度は十分ではないと感じている。継続して事業を実施していきながら認知度を高めていきたい。今後も4市が連携して、地域間交流の拡大、広域観光の推進に関する事業を行うことで、竜の子街道プロジェクトの目的である交流人口の拡大と地域の活性化、地場産業の振興を図りたい。

問　市民への周知は。

答　ホームページのほか、宿泊プランや周遊クーポンなどのチラシを公共施設、醸造事業所に配布する。

▲竜の子街道の箸置き（カプセルトイ）

新政会
鈴木　良和

本市においてのシェアリングエコノミーについて

問　大浜地区のシェア駐車場については遊休スペースを所有する個人等はいないが、お寺所有の土地が有る。この土地を無料で借りる方法は。また駐車場の情報を得る方法は。

答　宗教法人の用途以外に使用すると、税の減免が受けられなくなる場合がある。また駐車場情報を得る方法は、ホームページでの周知や看板で案内する。

環境対策について

問　気候変動対策への市の取り組みについては。

答　温室効果ガスの排出抑制等の取り組みについて定めた「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」と「碧のエコプラン」に基づき市全体で取り組んでいく。

問　具体的な取り組みは。

答　ペーパーレス会議の推進、グリーン基本方針に基づく環境負荷の少ない製品の選択、グリーンカーテン事業による公共施設の緑化の推進を取り組む。

問　気候変動に対応するための計画は。

答　地球温暖化対策計画や生物多様性地域戦略を一体的に計画する碧南市環境基本計画を改定する予定。

問　食べることができる器、食エコ活動については。

答　本市の事業所が開発した食べることのできる器や箸は環境に配慮した製品であり、イベント等で積極的にＰＲしていく。

▲食べられる器

公明党
加藤　厚雄

公共工事の平準化について

問　債務負担行為を設定し、年度をまたぐ工期で発注する事が必要ではないか。

答　長期間となる大規模工事では、今年度は3事業ある。小規模な工事はゼロ市債もしくは繰越し制度の活用が有効と考える。

問　ゼロ市債の活用については。

答　施工時期の平準化を促進する有効な手段なので、工事の性格等を踏まえ、調整を行う。

問　フレックス工期契約制度や早期契約制度の活用については。

答　メリット・デメリットを検証し、市内業者の意見等を聞く中で研究していきたい。

問　年度末にこだわることなく、繰越手続きを進めるべきでは。

答　繰越の承認を受けるよう努めている。課題を解決する中で工事の平準化を推進する。

緊急輸送道路の無電柱化推進について

問　無電柱化の現状は。

答　市内の緊急輸送道路の総延長は37・7㎞で、無電柱化の延長は1・31㎞である。

問　メリットとデメリットは。

答　無電柱化のメリットは災害時における電柱の倒壊による道路の封鎖及び停電の軽減等であり、デメリットは費用負担が10倍から20倍かかる事である。

問　今後の碧南市の対応は。

答　碧南駅前線は無電柱化を考えている。緊急輸送道路は国や今後策定される県の推進計画を考慮し、進めていきたい。

▲電柱のある道路と、電柱のない道路

新政会
林田　要

高齢者を敬い、若者を育む施策を問う

問 **高齢者の知恵や経験を若者に伝承する団体や組織は。**

答 スポーツ団体の他、友好親善協会などがある。

問 **国連SDGsの理念に沿った、高齢者の知恵や経験を伝承する事業や施策の必要性は。**

答 重要な視点として検討する。

問 **碧南市の自治体運営理念は。**

答 碧南市民憲章が運営理念。

問 **社会的弱者とされる立場の市民が活躍できる環境づくりを。**

答 国が目指す地域共生社会の考えに沿って地域福祉推進会議を中心に進めている。SDGsの「誰一人取り残さない」という視点も含めて進めていきたい。

問 **後継者不足による事業の廃止や、貴重な高齢者の知恵や経験、職人の技術が若者に伝承されないことは碧南市にとって損失ではないか。地場産業、地元企業・商店が永く安定して事業継続できる環境づくりを。**

答 重要な課題であると認識しており、企業訪問や商工会議所と連携するなど課題解決に向けた取り組みを推進している。

問 **一過性のものではなく、高齢者の知恵や経験が若者に伝承され成長につながる事業や施策、環境づくりが必要ではないか。**

答 山車やチャラボコといった伝統文化の活動の中においては、知恵や経験の伝承がみられ、市として活動支援している。

▲碧南市の貴重な知恵と経験の伝承

令和新風会
祢宜田拓治

ごみの収集について

問 **資源ごみの立ち当番や燃えるごみの収集方法の見直しは。**

答 地区により当番制度を廃止する所もあるが、住民同士のふれあいや地域コミュニティー向上のため継続をお願いしたい。燃えるごみの現路線方式は堅持。

問 **資源ごみは売れる市の財産だが、最近、民間収集箱が設置されている。状況と考えは。**

答 スーパー等での顧客サービス向上のための資源ごみ回収は把握している。主に紙等を回収するコンテナ形式の収集箱については把握していない。資源ごみ回収総量は減少傾向である。ごみ減量化には役立っている。

安心、安全施策について

問 **乳がん予防対策は。**

答 乳がんの早期発見のために、保健センターで行う集団検診、医療機関で行う個別検診とも国が指針により推奨する問診、マンモグラフィー検査を行うと共に自己点検の啓発も行っている。

問 **本市では、以前エコー検査を行っていたが、現在、40歳からのマンモグラフィー検査を行っている。近隣市では、早期発見のために30歳からのエコー検査を行っている所もあるので、本市もエコー検査の導入を。**

答 集団検診は、指針に従い委託実施しており、指針に定めのないエコー検査を実施するのは難しいが、個別では国も実態調査等を続けるとのことで、市も導入に対して具体的に検討する。

▲小さい病変の検出に優れているエコー検査

市民クラブ
石川　輝彦

公共施設の有効利用

問　碧南市公共施設等管理計画の推進状況を市民に伝えるために、目標とタイムスケジュールを含めた推進計画が必要であると考えるが、策定の考えは。

答　身の丈に合った公共施設の配備を目標にしている。その時代に合った、より効果的な手法を検討する。

問　希望する保育園に入れない等の問題が発生しているが、幼稚園をこども園化にすることで問題の解消につなげては。

答　園舎の老朽化や保護者のニーズを考慮する中で、公立園のあり方を本格的に検討する。

災害時に備えた防災力の強化

問　平成18年度に策定された徒歩帰宅支援マップの更新は。

答　グーグルのマイマップ機能を利用し、来年度中を目処に作成の準備を進める。

問　避難者がワンチームとなり避難所運営が行えるマニュアル作成の進捗状況と改定時期は。

答　今、災害の備えを学ぶ会と確認作業を行っている。来年2月の市防災会議後、公開する。

デマンド型交通の整備

問　くるくるバスの利便性向上に向け、デマンド型交通を併用しては。

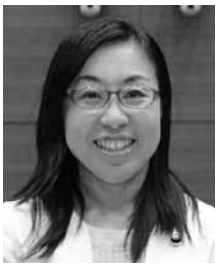
答　くるくるバスの補完する観点から、引き続き調査研究する。

豊かで魅力ある未来の創造

問　世界と一緒にSDGsを推進する考えは。

答　愛知県と連携し推進する。

▲災害の備えを学ぶ会



みらいクラブ
小池友妃子

災害時要配慮者に対する防災対策について

問　災害時要配慮者対応マニュアルが碧南市にあるか。

答　ないが、地域防災計画の中に要配慮者に関する項目はある。

問　子供やお年寄りにもわかりやすいやさしい日本語のメール配信はいつからか。

答　今年度中の配信予定。

問　災害時に市民が支え合いながら生活できるようにするために市ができることは。

答　日頃からコミュニケーションをとることの重要性等について啓発を実施していく。

学校に通学できない子どもたちについて

問　碧南市小中学校の不登校者の数は。

答　令和元年10月末で小学校19人、中学校30人、小学校高学年から中学にかけて増加傾向。

問　小中学校に在籍していない小中学生の数は。

答　平成31年4月、小学生52名、中学生42名。合計94名。ほとんどがブラジル人学校へ通学。

問　小中学校に通学できなかった子供達のその先は。

答　定時・通信制高校や専修学校、サポート校等へ進学、家事手伝い、帰国等。

問　子供達にとって学校とは。

答　将来の自立に向けて必要になる基礎・基本を学ぶ場。集団の関わり合いの中において、コミュニケーション能力や他者を思いやる気持ちをはぐくむ場。

▲避難行動要支援者マニュアル（藤枝市作成）

日本共産党
碧南市会議員団
山口　春美

市民病院の今後について

問 国が公立公的病院の再編統合の対象に全国424病院を名指し碧南市民病院も入っている。9月26日の報道以後、国に批判と撤回の声をあげてきたのか。

答 正式文書は国から来ていない。来年9月の地域医療構想調整会議で結論を得る。それまで病棟改修の計画を先送りする。

問 全国知事市長町村長会。労働者、医師の会が国に白紙撤回を求め大きく運動が進んでいる。リニューアル計画を延期したのは腰が引けている。

「病院を守る意思」を明確に示し、市民と職員の不安を払拭すべきでは。

答 職場での改修論議は終了。30年度の設計委託も12月に完了。

問 高浜豊田病院の開院で約100空床となっている。この期こそ改修するチャンスでは。

答 今後の動向を見て延期する。

▲火災の影響で満載のゴミピット

ゴミ焼却場の火事について

問 11月20日に発生した火事で持ち込みゴミ停止など大きな影響が出ている。市民への情報周知が遅れたのは市長の決断の遅れでは。再発防止と年末対策は。

答 原因は不明。発火性ごみの混入では。粗大ゴミコンベアの損傷で復旧は長引く。他区のステーション等に排出可能。市民の持ち込みの再開に努力する。

国保税引下げ介護減免制度拡充

問 子どもの均等割軽減を。介護減免制度は使えない。所得貯蓄額の緩和を。

答 その考えはない。

新政会
沓名　宏

禰宜田市政について

問 禰宜田市長の総括は。

答 3期にわたる市政運営は、市民満足度の最大化と世界に誇る碧南市の実現に向け、常にバランス感覚を持ちながら、行財政改革に取り組むとともに、将来への種まき事業にも積極的に取り組んできた11年余であった。

問 来年4月の選挙の進退は。

答 4選を目指し立候補する。

問 3期目でやり残したことは。

答 防災対策、健康寿命の延伸、市民病院の改革、ポートアイランドの活用、新たな工業用地・住宅用地の確保、スポーツ環境の充実など、中長期的な立場に立って、継続的に取り組んでいく。

公共施設の有効利用について

問 公共施設には年代、趣味、嗜好を持った方が訪れる。喫煙者は灰皿の設置を求める声が多いが。

答 設置できる所には置いている。

問 今まであったものを撤去していないか。

答 一部撤去している。

▲碧南緑地ビーチコート

行政視察研修報告

碧南市議会では、市政の課題や先進事例の調査のため、全国各地の市町への行政視察を行っています。

本定例会では各委員長により研修結果報告が行われました。成果は各委員の一般質問にも反映されています。

総務文教委員会

（小池友妃子委員長　記）

10月15日～10月17日

【福岡県宗像市】

小中一貫教育とＩＣＴを活用した教育について

【佐賀県武雄市】

図書館指定管理者導入及びスマイル学習等ＩＣＴ教育について

【佐賀県鳥栖市】

多文化共生によるまちづくりについて

▲宗像市議場

宗像市

宗像市では平成16年度に実施した「児童生徒の学習意識調査」の結果から小中一貫教育を導入。兼務教員制度、教科担任制などの取り組みは小中間の継続した学力向上に効果あり。また、地域・家庭と連携した取り組みや、世界遺産学習を核としたふるさと学習の推進は、児童生徒の地域への関心や自己肯定感を高める上で有効との成果が出ている。

また、ＩＣＴ活用教育推進事業では、市内全学校に教育用ＰＣ40台、電子黒板と書画カメラを3学級に1台、タブレットＰＣも50台以上設置するなどの取り組みを行っている。

▲宗像市研修風景

武雄市

武雄市図書館は蔦屋書店を運営するＣＣＣが指定管理者となり、平成25年4月にリニューアルオープン。サービスの拡充としては、蔵書数の増加、雑誌販売、カフェダイニングの導入、開館日・開館時間の拡大等があげられる。

また、ＩＣＴ教育では、平成22年に全国に先駆けて学校現場へｉＰａｄ40台を整備。平成28年には全ての小中学校において児童生徒が一人1台タブレットＰＣを所有している。

平成25年から「反転授業」をこのタブレットで実施。スマイル学習と名付けた。

▲武雄市図書館

鳥栖市

鳥栖市では、多文化共生事業として国際交流イベントの開催、外国人の方による広報記事の連載、やさしい日本語による市ホームページでの情報発信などを実施。市職員にもやさしい日本語の研修を行い、出前講座も実施した。

▲鳥栖市研修風景

福祉健康委員会

（山中謙治委員長　記）

10月16日～10月18日

【大分県大分市】

多職種連携で介護予防について

【兵庫県加古川市】

ＢＬＥタグ活用による高齢者の見守りサービスについて

【兵庫県伊丹市】

「伊丹方式」～ひきこもりから就労、納税へ～について

▲BLEタグを利用したまちづくり（加古川市作成）

大分市

大分市では将来推定人口において、団塊の世代が後期高齢者となる２０２５年には、介護認定率が増えることが予測される。自立した生活を継続するために、早期に介護予防、重症化予防に取り組むための多職種による地域ケア会議を推進している。

▲多職種による連携（大分市作成）

加古川市

加古川市は、子どもの登下校時の安全確保と、認知症高齢者の見守り対策として、ＢＬＥタグ活用による見守りサービスを導入した。導入した結果、行方不明となった認知症高齢者の位置情報履歴が捜査の手がかりになった報告が複数件あった。加えて、見守りカメラの導入により、刑法犯認知件数も県平均を下回った。

▲伊丹市議場

伊丹市

伊丹市は人口20万人弱のうち、約３，４００人が生活保護を受けている。これは神戸市を除いた兵庫県内で３番目に高い割合となるため、伊丹市は生活困窮自立相談支援事業に注力した。

具体的な施策として、所謂「伊丹方式」と言われる都道府県が認定した民間事業所である認定就労訓練事業所と随意契約し、契約した事業所に就労支援者を雇い入れしてもらう事業を行った。

認定就労訓練事業者は市の公園や公衆トイレなどの管理業務を請け負い、就労支援者に仕事を提供する。市の委託料が就労支援者への報酬の原資となり、事業の安定した実施に協力している。

経済建設委員会

（小林晃三委員長　記）

10月23日～10月25日

【内閣官房シェアリングエコノミー促進室】

シェアリングエコノミーについて

【千葉市】

シェアリングエコノミーについて

【千葉県山武市】

エコノミックガーデニングについて

内閣官房シェアリングエコノミー促進室

シェアリングエコノミーとは、個人等が保有する有形無形を問わず時間、スキルなどの活用可能な資産を、インターネット上のマッチングプラットフォームを介して、他の個人も利用可能とする経済活性化活動をいう。「個人の市場参加、柔軟な働き方、起業を含めたキャリア選択肢の多様化」、「新しい供給の創出」、「新しい需要の創出」、「都市問題、地方創生への貢献」が期待される。

▲内閣官房シェアリングエコノミー促進室研修風景

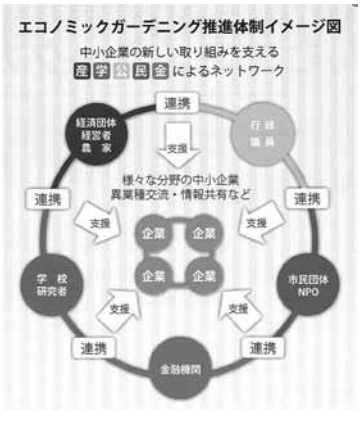
今後、利用者の安全性、信頼性の向上に向けて、消費者庁と協力した仕組みづくりや、地域解決課題型のモデル的取り組みの創出などの動きがある。

▲千葉市議場

千葉市

千葉市はシェアリングエコノミーによって、公共の遊休資産の有効活用や新たな観光資源の開発につながる地域資源の活用、市民が持つスキル等のシェアリングにより地域経済活性化や新たな地域共助等を期待してる。

今後はワークショップで地域ニーズをくみ取り、活用されていない資源によるシェアサービスで地域課題の解決をめざす。



▲エコノミックガーデニング推進体制イメージ図

山武市

エコノミックガーデニングとは、地域を「庭」、企業を「樹木」と見立てて、地域の産、学、公、民、金が連携し「水、肥料」を与えることで地域である庭を育むというもの。

市の産業が衰退していく状況の中、企業誘致だけに頼るのではなく、行政や商工会議所、銀行などが連携しながら地域の中小企業が活躍し成長することによる地域経済活性化を目指す取り組み。

議会運営委員会

（林田要委員長　記）

10月30日～10月31日

【大阪府八尾市】

大規模災害発生時の市議会の対応について・市議会総合防災訓練の実施について

【滋賀県大津市】

政策討論会議について・市立図書館や大学図書館との連携について

八尾市

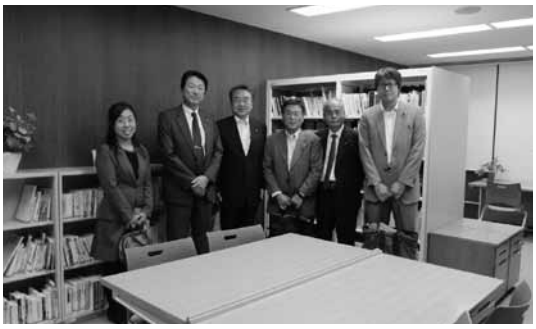
東日本大震災発生を契機に、大規模自然災害発生時の対応要領を策定。議員の安否確認、災害対策本部から出される情報の提供、議員からの情報整理をして災害対策本部へ提供など、議員の役割についてまとめる。

▲議場の避難はしご

▲傍聴席の座布団

定期的に普通救命講習の受講、議場傍聴者の安全対策として座布団や縄はしごを常備。

議場総合防災訓練では本会議中に大規模災害発生を想定した内容で実施し、市災害対策本部設置の宣言、議会の延会、傍聴者の避難誘導、担架で傷病者を搬送するという内容。



▲大津市議会図書室

大津市

政策討論会議は議会の政策立案機能を強化するため、議員提出案条例等を体系的に議会として検討する仕組み。数々の議員提案条例の制定や議決事件の検証に結び付いている。

パートナーシップ協定を締結している龍谷大学との連携で、図書の貸出しやレファレンスサービスを受けることが可能。大学図書館のレファレンスサービスを利用して質問に生かしている。また図書室の資料取集のアドバイスを受け選書に役立てる。

臨海対策特別委員会

（新美交陽委員長　記）

11月5日～11月6日

【国土交通省近畿地方整備局和歌山港湾事務所】

和歌山下津港海岸直轄海岸保全施設整備事業について

【兵庫県尼崎港管理事務所】

尼崎港海岸保全施設の浸水対策について

▲和歌山下津港視察の様子

国土交通省近畿地方整備局和歌山港湾事務所

下津港は、和歌山市、海南市、有田市の3市にまたがる大きな港で、国際拠点港湾となる。防災の観点から、南海トラフ地震の津波被害を想定したところ、海南地区がほぼ浸水することが予測された。

津波対策として、護岸の強化、水門の設置が計画された。

民間岸壁の外（海側）に公共岸壁を設置し、補強する形となっている。

また、巨大な琴の浦水門を設置し、災害時に遠隔操作で閉門できるようになっている。

▲新設された琴ノ浦水門

兵庫県尼崎港管理事務所

平成25年に海岸保全施設の津波対策計画を策定し、取り組んだ。しかし、平成30年の豪雨により、高潮の被害を受けた。よって、昨年度より津波対策と併行して、高潮対策を実施した。

令和元年度より南芦屋浜の南側の護岸を整備する計画を立てている。現在水面から5mの護岸が設置されているが、5.7mとなるよう護岸をかさ上げし、一定の間隔にアクリル板（幅6.8m）を設置する予定とのこと。

透明のアクリル板を使用する理由は、景観を損なわないために、護岸開発を進めるよう市民からの強い要望があったからとのこと。

▲南芦屋浜の視察の様子

議会の窓

議会傍聴の感想

12月5日、6日、9日の3日間で、碧南高校、棚尾小学校の皆さんをはじめ、205名の方が傍聴されました。若い皆さんは初めて傍聴する市議会にどのような感想を持たれたでしょうか。アンケートの一部を紹介させていただきます。

【碧南高校】

▼普段、自分たちが気付いていないことも聞いていて、そんな問題も起こっているのだということをたくさん知れて、とてもよい経験になりました。自分も市のことをもっと積極的に調べてみたいと思いました。

▼初めて傍聴して、1つの議題に対して多くのことを聞いていて、碧南市をよりよくしたいという感じがとても伝わってきました。

▼市民がより過ごしやすい環境をつくろうと一生懸命討論している姿に感激しました。私達の日常を支えてくれていることに感謝の気持ちで一杯です。

▼碧南市のさまざまな議題について話し合って、意見を言い合ったりしていて、すごいなと思いました。傍聴する機会はめったにないので、とても貴重な時間で、勉強になりました。

▲碧南高校の皆さん

【棚尾小学校】

▼大人の授業みたいでした。市を大切にしている人にしかできない仕事だと思いました。

▼「将来の子どもたちに必要」という言葉が印象に残りました。

▼話していることを聞き取ろうとしてわくわくしました。

▼吸い込まれるように見てしまいました。

▼市議会は自分の意見を言い合うので「喧嘩みたいになるのかな」と思っていましたが、皆が自分の意見を言い、他の人の意見を聞く会ということが分かりました。

▼男の人が多くて女の人が少なかったのが疑問です。

▼それぞれの役割があって、碧南市のためにたくさんの人が市議会に参加しているのだなと思いました。

▼自分たちの未来は、こうやって真剣な場でみんなで話し合われているのだなと思いました。

▲棚尾小学校の皆さん

3月市議会定例会 2月18日(火)開会予定

第1日は、2月18日（火）午前10時に開会します。会期は3月23日（月）まで35日間を予定しています。

ぜひ、傍聴にお越しください。

※会議日程は右記のとおり予定しておりますが、正式には、議会運営委員会で決定いたします。

総括質疑の様子は、「碧南市議会ホームページ内のインターネット中継」又は、「キャッチネットワーク（地上デジタル11ch）」で次の日時に視聴できます。

3月　4日放映（2月27日分）
3月10日放映（2月28日分）
3月17日放映（3月　2日分）

いずれも午後6時から予定

3月市議会定例会の予定

2月10日(月)	議会運営委員会
	招集告示日
2月12日(水)	予算概要説明会
2月18日(火)	本会議第1日(議案上程等)
2月27日(木)	本会議第2日(総括質疑)
2月28日(金)	本会議第3日(総括質疑)
3月2日(月)	本会議第4日(総括質疑)
	予算審査特別委員会
3月4日(水)	総務文教委員会
3月5日(木)	福祉健康委員会
3月6日(金)	経済建設委員会
3月10日(火)	総務文教分科会
3月11日(水)	福祉健康分科会
3月12日(木)	経済建設分科会
3月17日(火)	予算審査特別委員会
	議会運営委員会
3月23日(月)	本会議第5日

発行　碧南市議会　〒447-8601　碧南市松本町28番地　電話　0566-95-9919(直通)　FAX 0566-41-9900
ホームページ　http://www.city.hekinan.aichi.jp/GIKAI/
※紙面に対するご意見をお寄せください。
VEGETABLE OIL INK